申立ての内容

【評価項目】

2 項目別評価

(4) その他業務運営に関する重要目標

【原文】

令和元年度の実績のうち、下記の事項に ついて課題がある。

○知的財産管理体制の不備

前理事・副学長(知的財産担当)が特許 結や冒認出願等をはじめとした不正行為を たものとして、懲戒解雇となった事案が認 められた。役員である管理者自身によって 不正行為を行ったことは、ガバナンスや管 あったと認められ、知的財産管理体制の強 | た組織的な取組を更に実施することが強く 化や職員への教育研修等、再発防止に向け | 求められる。 | た組織的な取組を実施することが強く求め られる。

【申立内容】

【修正文案】のとおり修正いただくよう お願いいたします。

【修正文案】

令和元年度の実績のうち、下記の事項に ついて課題がある。

○知的財産管理体制の不備

前理事・副学長(知的財産担当)が特許 出願手続において、大学に無断で契約の締 結や冒認出願等をはじめとした不正行為を

申立てへの対応

【対応】

意見を踏まえ、以下のとおり修正する。

「令和元年度の実績のうち、下記の事項 について課題がある。

○知的財産管理体制の不備

前理事・副学長(知的財産担当)が特許 出願手続において、大学に無断で契約の締 結や冒認出願等をはじめとした不正行為を 出願手続において、大学に無断で契約の締一行ったことが確認され、その多くが知的財 産の責任者である理事・副学長の立場を利 行ったことが確認され、その多くが知的財用し、自身の立ち上げたベンチャー企業へ 産の責任者である理事・副学長の立場を利 | 利益還元できるように任務違背行為を行っ 用し、自身の立ち上げたベンチャー企業へ たものとして、懲戒解雇となった事案が認 利益還元できるように任務違背行為を行っ |められた。役員である管理者自身によって |不正行為を行ったことは、ガバナンスや管 |理体制、コンプライアンスの徹底に問題が あったと認められ、知的財産管理体制の強 理体制、コンプライアンスの徹底に問題が | 化や職員への教育研修等、再発防止に向け

【理由】

再発防止に向けた組織的な取組が既に実 施されていることを踏まえ、記述を修正す るもの。

行ったことが確認され、その多くが知的財産の責任者である理事・副学長の立場を利用し、自身の立ち上げたベンチャー企業へ利益還元できるように任務違背行為を行ったものとして、懲戒解雇となった事案が認められた。役員である管理者自身によるや問題があったと認められ、知的財産管理体制の強化や職員への教育研修等、再発防止に同りを観測が取組が実施されているが、引き続き徹底した組織的な取組を実施することが強く求められる。

【理由】

本学では、以下のとおり令和元年度まで に再発防止に向けた組織的な取組を実施し ています(業務実績報告書p. 47に記載)。

[令和元年度までに実施した取組]

- 平成30年10月に知的財産管理における権限を分散させ、互いに牽制可能な体制とした。
- 利益相反マネジメントシステムの実質 化に取り組んだ。
- 令和元年9月に懲戒事案に関する説明 会を開催した。
- 例年4月に実施している全教職員研修 に加え、本事案を受けて、令和元年12 月にも全教職員を対象とするコンプラ イアンス研修及び会計手続きに関する 説明会を実施した。

令和元年度までの取組に引き続き、令和 2年度においても更なる体制強化や規則改正等に取り組んでいるところです (報告書p . 47の①~④)。

原文では令和元年度までの取組が実施されていないような誤解を与えうるため、修 正文案のとおり修正いただくようお願いい たします。